

2006年1月7日プレスリリース
山口情報芸術センターpresents

＜平成の戯作者＞水谷龍二が、異色、異才、異能のキャストで贈る
抱腹絶倒のブラックヒューマンコメディ！

夫婦犯罪



片桐はいり

春風亭昇太

辺見えみり

山口情報芸術センター

2006年3月1日(水)
19:00 開演

主催：財団法人山口市文化振興財団

企画制作：山口情報芸術センター

山口情報芸術センター（YCAM）では、2006年3月1日(水)に、水谷龍二作・演出、片桐はいり、辺見えみり、春風亭昇太出演による演劇公演「夫婦犯罪」を行います。

作・演出の**水谷龍二**は、『コント 55 号のなんでそうなるの！？』で放送作家デビューし、多くのバラエティ番組で活躍。一方で、舞台作品も積極的に発表し、笑いあり、涙ありの温かい作風の物語を次々と手がけてきました。中村勘九郎（現勘三郎）のラブコールにより実現した新しい歌舞伎の書き下ろし作品や、風間杜夫ひとり芝居三部作の脚本などその業績に対して「将来が嘱望される」と 2004 年には第 13 回日本演劇協会賞を受賞しています。

キャストには、小劇場出身で、そのインパクトの強い役柄で幅広い世代から人気の**片桐はいり**、ドラマやバラエティのほか鴻上尚史など人気作家の舞台でも活動する**辺見えみり**、そして 2000 年文化庁芸術大賞を受賞し、昨年はテレビドラマ「タイガー&ドラゴン」（TBS 系）でも注目を集めた落語界の異端児**春風亭昇太**と、テレビ、舞台、映画で活躍する 3 人が集います。

注目の劇作家と個性溢れるキャストが贈るユーモア溢れた作品「夫婦犯罪」を、この機会に貴紙／誌にてご紹介いただけますようお願いいたします。

その昔、『夫婦善哉』というトーク番組があった。司会のミヤコ蝶々と南都雄二が毎回二組の夫婦から面白い話を聞きだすのだが、夫婦の話より南都雄二のボケに間髪を容れず突っ込む蝶々さんが何と言っても可笑しかった。勿論、タイトルは織田作之助の小説『夫婦善哉』から頂いたのは言うまでもない。そもそも善哉とは、善いと褒める言葉。また関西ではつぶし餡の汁粉のことをぜんざいという。夫婦善哉一確かにこの四文字にはのどかで甘い香りがする。そうありたいという願いが込められている。この善哉を犯罪にしたのは、単なる語呂合わせである。夫婦犯罪一しかしこの四文字もよくよく眺めてみると味がある。この芝居に登場する一癖も二癖もある三人の役者にいつしか仕掛けられたような気にもなってくる。

水谷龍二

夫婦犯罪 あらすじ

数年前、ある地方で棟方志功の贋作版画が出回る事件があった。犯人はある一組の夫婦だった。夫の遠山保（春風亭昇太）が版画を彫り、妻の房子（片桐はいり）が販売を担当していた。二人は警察の目を掻い潜り、日本全国を転々とした。現在二人は東京に潜伏していた。古びた一軒家がありそこに住む花村遼子（辺見えみり）は保の腹違いの妹だった。（保の父は大物政治家で、保は次男）二年前に母が亡くなり一人暮らしを続けていた遼子は、義理の兄夫婦を歓迎した。遼子はもちろん兄夫婦の素性は知らない。最後に会ったのは十数年前、保は美大を卒業し、新進の版画家として注目されていた。当時中学生だった遼子にとって憧れの兄であったが、今は見る影もないほど落ちぶれていた。そんな保を気遣う遼子は、時折保に横暴な口をきく房子に嫌悪感を覚える。一方、房子も着付け教室の先生にしては、優雅に暮らす遼子に不審を抱いていた。遼子は、保を駄目にしているのは房子だと思い始める。房子の方は遼子が鼻持ちならない存在になってくる。そんな二人の女の確執を知りつつ、何もしない保。一見平和に暮らす三人だが……。男女三人が織りなす可笑しくも悲しい愛憎喜劇がはじまる……。

プロフィール

水谷龍二（作・演出）

『コント 55 号のなんでそうなるの！？』で放送作家デビューし、多くのバラエティ番組で活躍後、テレビドラマの脚本家となる。同時期に「星屑の会」を結成し、舞台での活動も開始、笑って泣ける温かい作風の物語を次々に発表する。中村勘九郎（現勘三郎）のラブコールにより新作歌舞伎を書き下ろすなど、幅広いジャンルで活躍。トム・プロジェクトでは風間杜夫ひとり芝居三部作をはじめ、『子供騙し』、『乙女の祈り』、『火焰太鼓』（明治座公演）など。2004 年第 13 回日本演劇協会賞を受賞。

片桐はいり

1963 年生まれ、東京都出身。

成蹊大学在学中に劇団“ブリキの自発団”に入団。1993 年退団。その後もテレビ、映画、舞台と様々な作品に出演。最近の出演映画は「キューティーハニー」「恋の門」2006 年春「かもめ食堂」など。また舞台では「ドライブインカリフォルニア」「キレイ」一人芝居「ベンチヤーズの夜」など数多くの作品に出演している。どの作品でも、高い存在感で観客を魅了する女優である。2006 年 3 月に幻冬舎より初の書き下ろしエッセイ集を刊行予定。

辺見えみり

1976 年生まれ、東京都出身。

1993 年テレビ朝日のドラマ「いちご白書」で女優デビュー。以降、女優としてコンスタントにＴＶドラマで活躍。「スーパージョッキー」「ワンダフル」などバラエティーにも積極的に出演、幅を広げる。2003 年以降は、「ミュージカル・天使は瞳を閉じて」「ハルシオン・デイズ」と連続して鴻上尚史作品に出演。昨年は新橋演舞場の「丹下左膳」でお藤役を熱演、好評を博し、舞台女優としても躍進中。

春風亭昇太

1956 年生まれ、静岡県出身。92 年真打昇進。

新作落語の創作活動に加え、独自の解釈で取り組む古典落語の会を定期的に関き、若い観客層を増やし続けている。2000 年文化庁芸術祭大賞受賞をはじめ高い評価を得ている実力派。演劇・音楽系など、ジャンルを越えた交流も幅広い。

概 要

めおとはんざい 「夫婦犯罪」

作・演出：水谷龍二

出 演：片桐はいり、辺見えみり、春風亭昇太

日 時：2006年3月1日(水)19:00開演 ※30分前開場

会 場：山口情報芸術センター スタジオA

料 金：全席指定

A席 一般5,000円 any会員/特別割引 4,500円

B席 2,000円（学生対象 ※学生証をご提示下さい。）

※ 未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット情報：

any会員先行予約：2006年1月7日(土)～

※any会員先行予約初日は電話のみの受付となります。

プレイガイド発売：2006年1月14日(土)～

チケットインフォメーション 083-920-6111

ローソンチケット 0570-084-006(Lコード 68915)

主 催：財団法人山口市文化振興財団

企画制作：トム・プロジェクト

山口公演企画制作：山口情報芸術センター

■特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。
山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

■託児サービス

対象：0才以上 託児時間:開演の30分前から終演後30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：2月22日(水)までにチケットインフォメーション(TEL：083-920-6111)までお申し込みください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR新山口駅から

- ・ JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・ JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・ 防長バス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東ICから30分
- ・ 九州・中国自動車道で小郡ICから15分

お問い合わせ：山口情報芸術センター 企画担当：岸、四元 広報担当：小滝
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 E-mail：information@ycam.jp

<http://www.ycam.jp/>